

回答者の政党名（所属政党）	選挙区	候補者氏名
小形かおり	日本共産党	中央区
問 1-1 障害者の地域移行を進めるために必要な障害福祉サービスの充実について		
充実することが必要である		
問 1-1 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
生活できる所得を得ることも、買い物・通勤などで移動する際のバリアフリーや交通手段の確保なども不十分で、自立できる生活水準に到底及んでいないと考えます。		
問 1-2 「重度障がい者に必要な在宅介護のあり方に関する意見書」を再検証し、その内容を計画的に実施することについて		
再検証して計画的に実施する		
問 1-2 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
障害当事者の参加・意見反映が大前提。重度訪問介護の非定型の導入は当然ですが、約半数が当事者で構成される「検討会」の提言と異なる内容は、改善に向けて再検討すべき。		
問 1-3 「重度訪問介護の非定型による支給決定等事務の手引き」の見直しについて		
見直しが必要である		
問 1-3 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
「手引き」はあくまでも障害当事者一人ひとりの状況に応じた個別対応が本旨の非定型のあり方にかかわるもの。現場の実態に即した見直しが必要。		
問 1-4 共同生活援助入居者が一時帰宅したときの訪問系サービスの利用について		
一定の要件のもと利用可能とする		
問 1-4 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
一定の要件で認めていたものを認めないのは重大な後退で、元通りにすべきです。一時帰宅したら援助が不要という考えそのものが間違っている。		
問 1-5 「医療型障がい児入所施設・療養介護」のショートステイ利用等の緊急を要するサービスと障害者手帳の未交付にともなう利用制限について		
必要な場合は利用可能とする		
問 1-5 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
緊急を要するときは、手帳所持の有無ではなく、生死をわける問題だから。		
問 1-6 居宅介護（家事援助）等の業務に含まれる「育児支援」の取扱いについて		
育児支援を実施する		
問 1-6 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
厚労省が「可能」としているから実施すべき。		
問 1-7 障害児とその家族に対する支援について		
支援を充実する		
問 1-7 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
必要な人には必要なサービスを受けられるようにすべき。そうでなければ地域生活は保障できません。人権を保障し、個別の生活実態を十分考慮するべきです。		

<p>問 2-1 障害の有無、種別、程度により分け隔てる特別支援教育から、障害に応じた支援を確保することで、分け隔てないインクルーシブ教育への転換を計画的に進めることについて</p>
<p>計画的に進める</p>
<p>問 2-1 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください</p>
<p>「札幌市子どもの権利条例」に基づき、少人数、小規模で、子どもどうしや子どもと教師の関係などが十分に築ける環境を整える必要があります。</p>
<p>問 2-2 本人・保護者の意見の尊重と地域の普通学校への入学の可否について</p>
<p>入学を拒否しない</p>
<p>問 2-2 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください</p>
<p>希望する学校が、人的体制や学校施設の事情から「無理」としているケースが考えられ、速やかな環境整備が必要です。「拒否」するケースはあってはなりません。</p>
<p>問 2-3 地域の普通学校への入学にあたっての合理的配慮の公的責任による確保について</p>
<p>公的責任として確保する</p>
<p>問 2-3 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください</p>
<p>教師・サポーターなど人的配置を手厚くする、バリアフリーにする、などで早急に合理的な配慮をすべきです。</p>